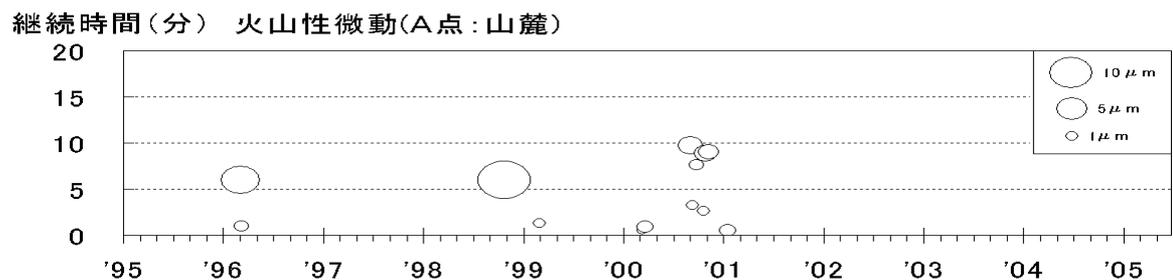
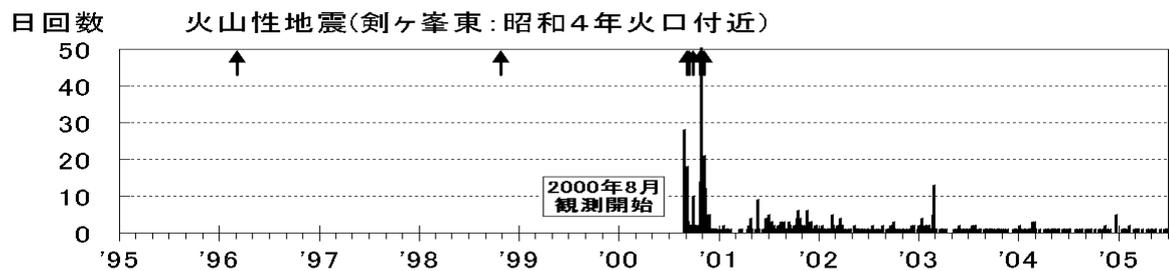
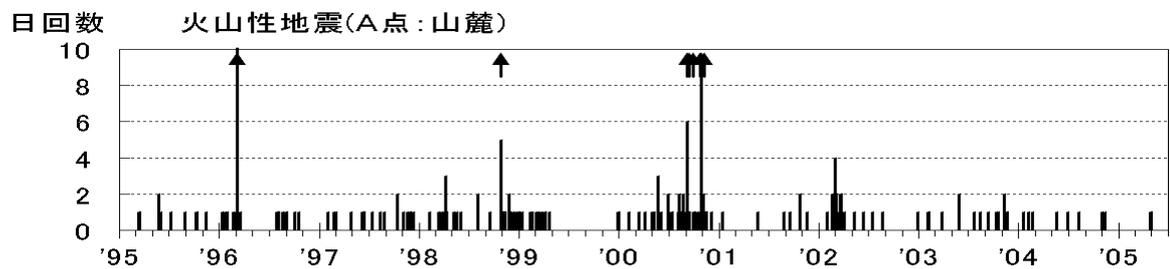
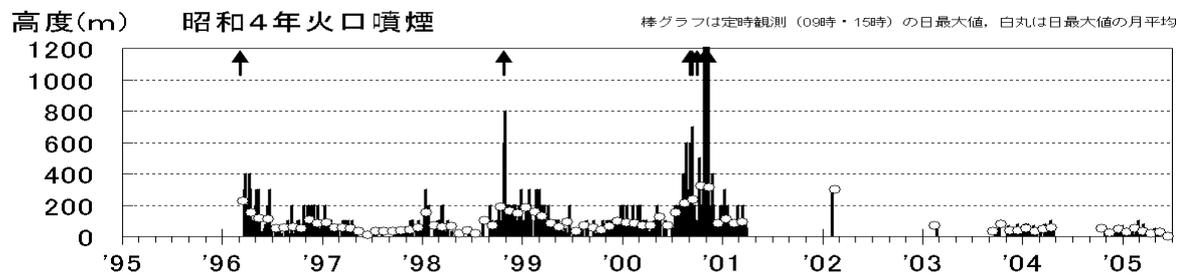
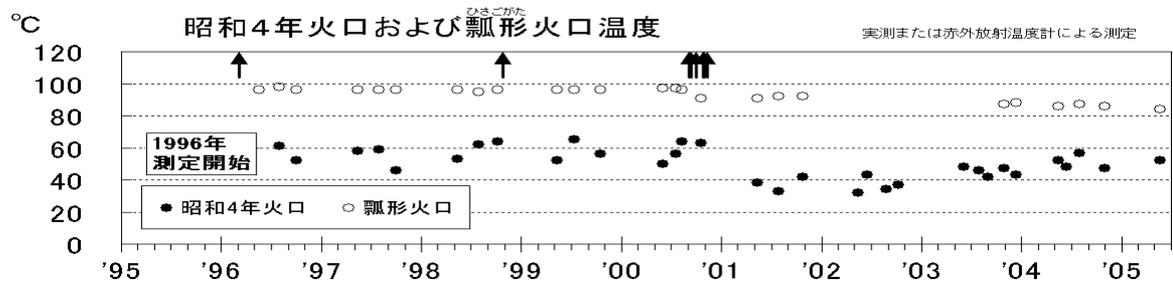


北海道駒ヶ岳

1 概況

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。



最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2005年6月30日) 印は噴火

2 噴煙の状況

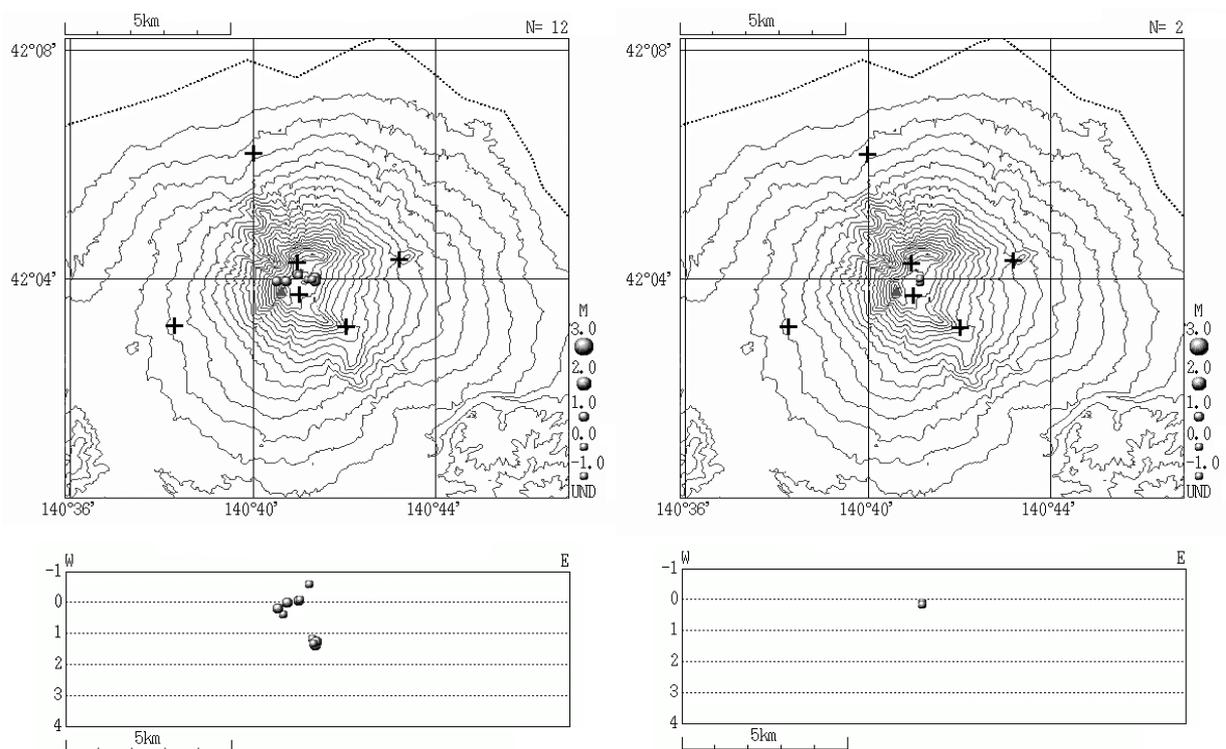
2003年9月以降、昭和4年火口からの弱い噴気がしばしば観測されています。

3 地震の発生状況

今期間、A点で観測された火山性地震はなく、山頂観測点で観測されるごく微小な地震も少ない状況でした。火山性微動は2001年1月以降観測されていません。

地震・微動の月回数(A点)

2004~2005年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



北海道駒ヶ岳の震源分布図(丸印:震源 +印:地震観測点)

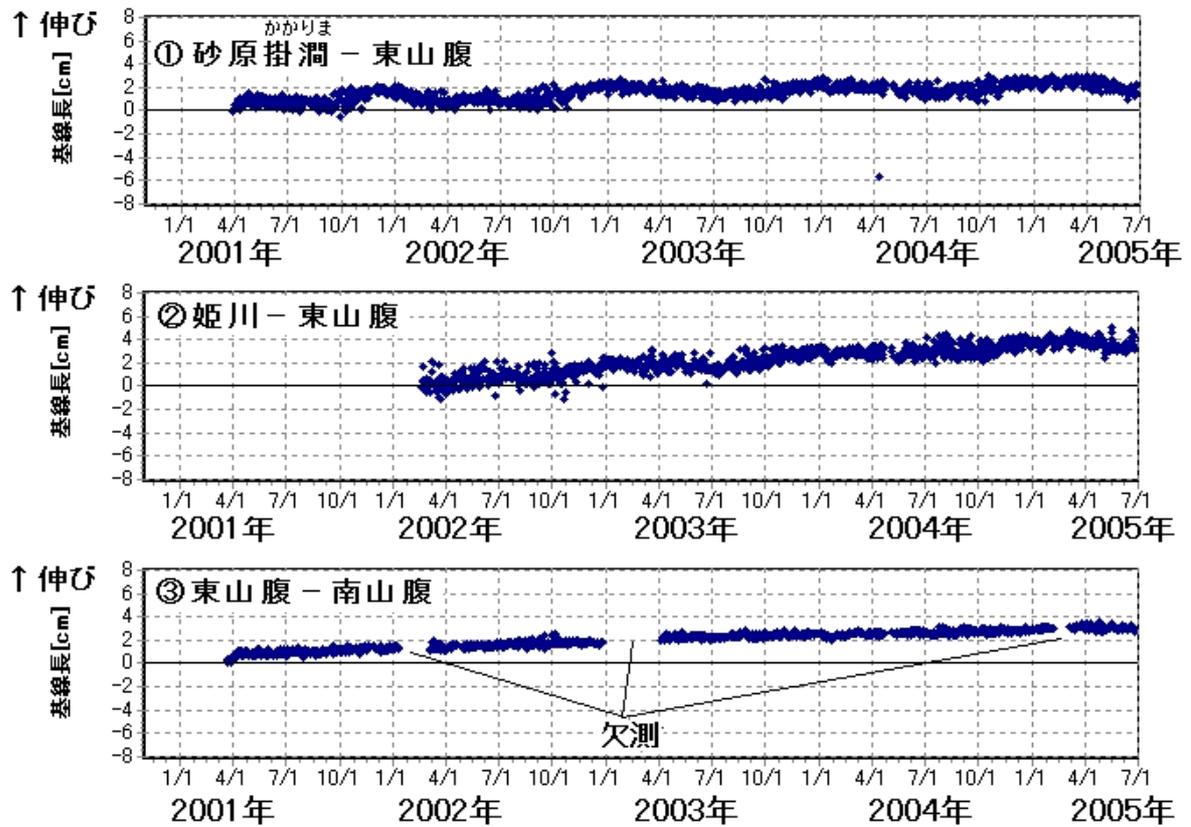
右図は今期間(2005年6月1日~6月30日)に求めた震源を示しています。

左図は前期間までの11ヶ月間(2004年7月1日~2005年5月31日)に求めた震源を示しています。

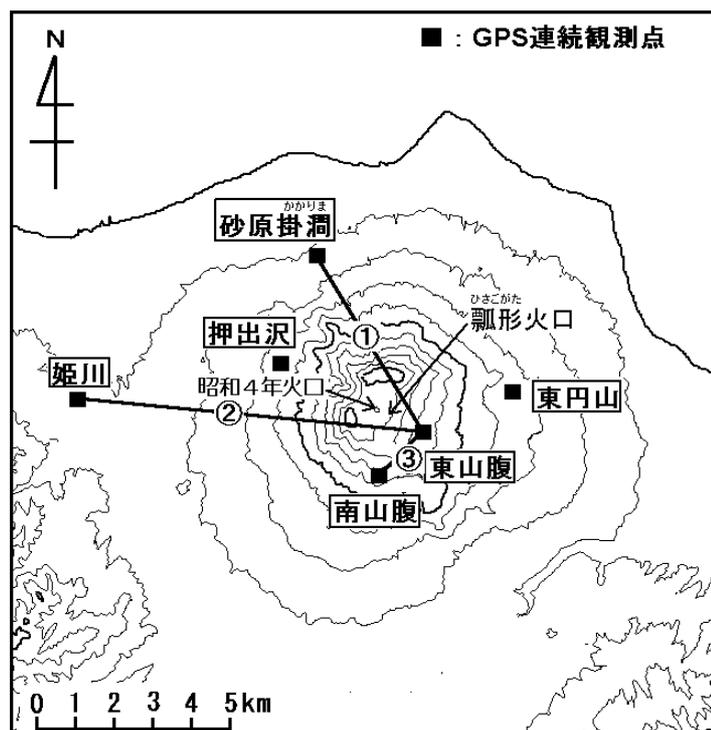
震源は大きく分けて山頂火口原直下の海面付近と、海面下1~2kmに集中しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。



基線長変化（2001年3月23日～2005年6月30日）

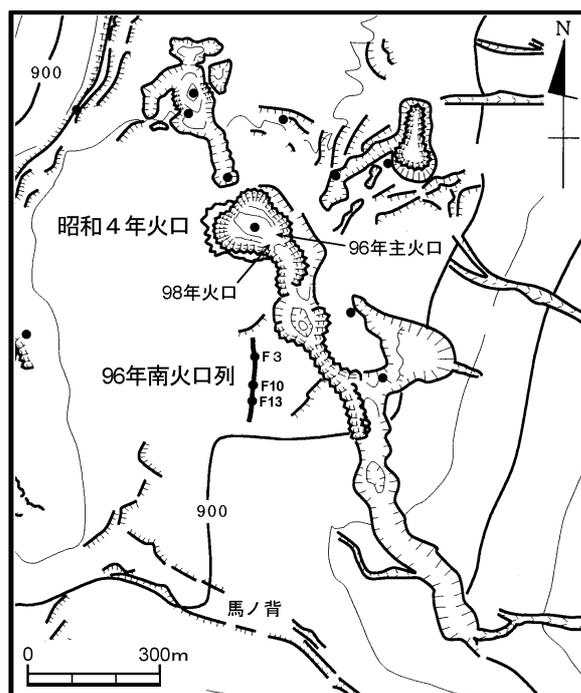


5 上空からの観測結果

6月1日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。曇天のため火口原全体の詳細な観測はできませんでしたが、昭和4年火口からは2000年噴火のあった南側内壁部分から立ち上がる少量の弱い白色の噴気が認められました。96年主火口に噴気は認められませんでした。本年5月に実施した調査観測結果と比較して昭和4年火口の状況に変化は見られませんでした。



北西側上空から撮影した昭和4年火口



駒ヶ岳山頂火口周辺図